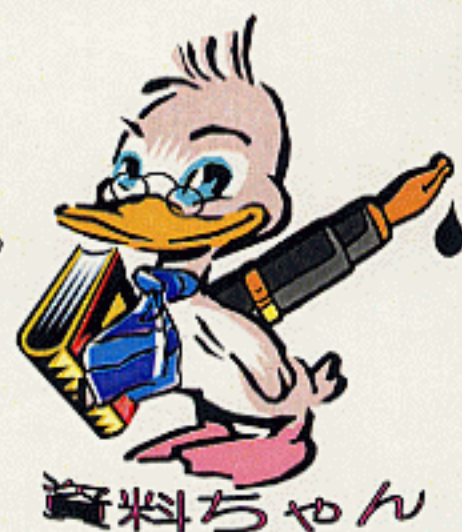


資料室 ニュース Vol. 11

2003年8月27日発行

今月の資料ちゃんからのお知らせ

今年に関東大震災が発生してからちょうど80年。今年に入ってから大きな災害が起こっているね。お家の防災対策は大丈夫？！



— 関東大震災80周年 —

関東大震災がおこったのは今から80年をさかのぼる1923年(大正12年)9月1日、午前11時58分のことでした。マグニチュード7.9を記録したこの地震は、神奈川県西部から相模湾そして千葉県房総半島の先端部にかけての地下で断層が動き、関東地方南部の広範囲を襲いました。ちょうど昼食時だったということに加え、直接ではなかったにせよ台風にもなう強い風が吹いていたことも大火災の原因となりました。また津波や土砂災害といった二次災害も引き起こしました。死者・行方不明者14万2千余*、全壊家屋12万8千棟、全焼建物44万7千棟といわれる大災害の被害総額は当時の国家予算の1年4ヵ月分にもなるといわれています。

*2003年6月7日の神戸新聞(夕刊)「関東大震災 死亡・不明4万人減」によると、近年の調査の結果一部の集計で不明者の数が重複して計上されたのではないかという声があがっている。



吉田初三郎、「関東大震災鳥瞰図」、<http://www.tanken.com/sinsaicyokan.html> より引用(大火災の様子が克明に描かれています)

美しく復興した町並みを見ていると関東大震災をはじめ阪神・淡路大震災など大地震の記憶は時間とともに薄れていきがちですが、地震列島日本に住む私たちは過去の災害を教訓とし、日々防災意識を高め、伝えていくことが大切です。

9月1日の「防災の日」に家庭や地域の防災のあり方について今一度みんなで考えてみましょう。

武村雅之、『関東大震災—大東京圏の揺れを知る—』、東京、鹿島出版会、2003 参照

～ 関東大震災に関する図書紹介 ～

題名	著者・記事作成者	発行者・発行者	発行年	図書室資料番号
関東大震災	中島陽一郎	雄山閣出版	1995	4-C 8672
東京・関東大震災前後	原田勝正 塩崎文雄	日本経済評論社	1997	4-C 8671
流言とデマの社会学	廣井脩	文藝春秋	2001	4-C 22529
近代災害史	官公庁資料編集会	政府資料刊行会	2001	4-C 22868
NHK20世紀日本大災害の記録	藤吉洋一郎 [監修]	NHK出版	2002	4-C 24113

- 「関東大震災 大東京圏の揺れを知る」 武村雅之 著、東京、鹿島出版会、2003
80年前に起きた関東大震災の揺れをさまざまな資料から再検証し、分かりやすく説明。
地震や火山で出来た国である日本に住むわたしたちが納得して地震防災を考えられるように書かれた本。
- 「大都市が震えた日 安政大地震・関東大震災・阪神淡路大震災」
永沢道雄 著、東京、(株)朝日ソノラマ、2000 (2-B 19404)
社会・政治に衝撃を与え時代の転換期となった安政大地震・関東大震災・阪神淡路大震災の3つの地震を振り返るとともに、それぞれの地震にキーワードを与えその特徴を解説。

地震がおきたら・・・ その時のための十か条

覚えておいてね!



- 1) 地震がきたら、まず身を守りましょう。テーブルの下にもぐりこむなど、頭の保護を忘れずに。
- 2) 様子を見て、すぐに火の始末をしましょう。火事は大きな二次災害をまねきます。
- 3) 戸や窓など出口の確保をし、部屋に閉じ込められないようにしましょう。
- 4) あわてて外に飛び出すのは危険です。地震がおさまってから状況をよく確かめましょう。
- 5) 外で地震にあったら周りに注意しましょう。窓ガラス、看板、ブロック塀など危険なものがいっぱいです。
- 6) 野球場や劇場などでみんなが急いで出口に向かったらパニックになります。係員の指示に従うようにして、冷静な行動を心がけましょう。
- 7) 自動車の中で地震にあったら、自動車を止め、勝手な行動をとらないようにしましょう。
- 8) 山や海岸で地震にあったら、山くずれ、がけくずれ、津波に注意して行動しましょう。
- 9) 避難の前に電気・ガスの安全確認。荷物は最小限にしましょう。
- 10) デマに気をつけ正しい情報で動きましょう。



夏休み子ども防災ワークショップを開催しました！

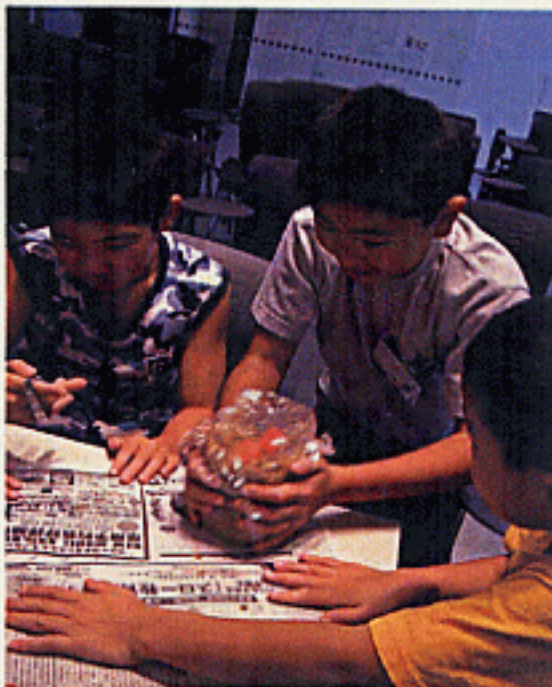
8月12日(火)

「じしんがきたらどうしよう?!」～子どもサバイバル～

夏休みのある日、お友達の家で子供だけで遊んでいる時に地震がきたら・・・という設定でプログラムは進められました。まず地震のしくみを学んでから起震車に乗り実際に揺れを体験。安全な身の守り方を習得した後は地震後の時間を追うかたちで、三角巾を使っての救急法、新聞紙を折ったスリッパやダンボールの簡易トイレなどの作り方をゲーム形式で楽しみながら学んでいきました。サバイバル・クッキングで非常食を試食した後は各班から今回の体験学習についてまとめた「壁新聞」を交えての発表もありました。



起震車では震度7という大きな揺れを体験！



ペットボトルを揺すって地震をおこすと・・・

8月21日(木)

「ペットボトルでかんたん液状化実験」

阪神・淡路大震災でもポートアイランドなどの埋立地でみられた、地震による地盤液状化現象(海岸や河川付近の比較的地盤がゆるく地下水位が高い土地でおこりやすい現象)を、砂・水・消しゴム・ペットボトルなどといった簡単な材料を使い学習。4チームにわかれて行われた実験も大成功に終わり、「夏休み自由研究」のテーマとしてもおおいに役立ったようでした。

新着図書

題名	著者・記事作成者	発信者・発行者
地学雑誌 2001 Vol.110No.6		(社)東京地学協会
調べごと解決! 情報源2003		(株)生活情報センター
防災・危機管理六法 平成15年版	内閣府政策統括官(防災担当) [監修]	新日本法規出版(株)
宮崎淑子と考える家庭内防災	渡辺実(まちづくり計画研究所所長)(監修)	(株)東京法規出版
わが家の地震対策	廣井脩(東京大学社会情報研究所教授災害社会学)(監修)	(株)東京法規出版
あなたの家は安全ですか	(財)日本建築防災協会(監修)	(株)東京法規出版
1:25,000 都市圏活断層図 奈良ほか	国土地理院	(財)日本地図センター